



落一地域センターだより No.79

こんにちは 落合

令和2年 春号



OCHIAI

編集・発行＊落合第一地域センター管理運営委員会広報部 ☎ 161-0033 新宿区下落合 4-6-7 ☎ 3954-1611

落合第一地域センター

管理運営委員会とは？

地域の皆様に親しまれご利用いただいている落合第一地域センターの管理運営委員会とはどのような会なのかをご紹介します。

落一地域センターの目的は会則（第3条）によって次のように定められています。

”委員会は、「和」の精神に徹し、地域住民相互の交流と活動を通して、落合とともに生き集うまちづくりの拠点となるセンターの運営を目的とする。”

管理運営委員は、一般公募と団体推薦応募によって構成されます。

一般公募は落一管内の在住者で本会の目的に賛同し、その運営に熱意を持って参加することが条件です。

団体推薦は地域で公益活動を行っている団体以外の団体で会員の過半数が落一管内在住者であることが条件で、各団体は代表者を推薦することが出来ます。

募集後の臨時総会では、会長・副会長・会計・会計監事を選出し、役員以外の委員は希望に基づき各部に振り分けられます。

その後各部で部長・副部長を決め、活動に入ります。

☆総務部

各部会との連絡調整、総会及び役員会の準備、特別出張所との調整等を行なう。

☆企画部

本会の自主事業の計画・実施の中核として活動する。

☆広報部

「こんにちは落合」の編集発行。

☆役員会

役員及び各部の部長、副部長をもって構成し、本会の運営、部会間の調整等を行なう。

以上が概要ですが、地域の方々に愛される地域センター作りを目指し、一緒にボランティア活動をしてみませんか？

今年の臨時総会は

5月22日（金）の予定です。

現委員の任期満了に伴い

落合第一地域センターの管理運営委員を公募します

応募資格は落合第一地域管内在住で、本会の目的*（本頁記事を参照）に賛同しその運営に熱意のある方。委員の任期は2年です。公募する一般の枠は29名です。

詳しくは、各町会の掲示板に掲示されるポスターをご覧ください。下記にお問い合わせください。

落合第一地域センター 事務局 電話 03-3954-1611

◆運営委員会だより◆

地域センター管理運営委員会の催しは、各町会の掲示板等でポスターにてお知らせします。

問い合わせ 地域センター事務局

☎(3954) 1611

◆企画部◆

落語で初笑い

新春センター寄席

1月18日(土) 地域センター4階ホールにて、八代目春風亭柳橋師匠をお迎えして、恒例の新春センター寄席が開かれました。

柳橋師匠は落合とのご縁も深く、上落合の光徳寺のご住職と大学が同じということ、お寺で行われた「地藏寄席」に何回も出演されていたそうです。



当日は休憩を挟んで2席お話し下さいましたが、師匠の得意ネタでもある「妾馬」が印象に残りましたの

でをご紹介します。

「赤井御門守」という殿様が行列の駕籠に乗って、とある長屋の前に差し掛かった時、長屋口で見かけた「お鶴」を見初め、これまで世継ぎが居なかったこともあり、大家に話をつけ側室として迎い入れた。

お鶴は17歳、母親と兄の八五郎の三人暮らし、母は娘を出世させてやれると喜び、兄は屋敷から支度金を得られると浮かれていた。八五郎は二百両を貰いうけ、お鶴はお屋敷に上がることとなる。間もなく世継ぎたる男子を出産し、「お鶴の方様」と呼ばれる出世を遂げる。

お鶴のたつての願いで八五郎をお屋敷に呼ぶことになった。

その頃の八五郎は、支度金を遊びで使い果たし、決まりが悪くなり友人の家を泊まり歩いていた。大家は八五郎を見つけ出し、着物も全て貸し与え、御前へ出たら言葉を丁寧にし、ものの頭には「お」を、語尾には「たてまつる」をつける、とアドバイスをして送り出した。

屋敷に着き、側用人の三太夫に御前まで案内される。殿様に対し、とってつけたような仰々しい言葉遣いをするが、「無礼講であるから朋友に申すごとく申せ」と勧める。これを聞きいつもの如く傍若無人に振舞う。そして酒と料理が出て、酒も

回った八五郎を「おもしろいやつだ、あの者を召し抱えよ」と殿様の鶴の一声で八五郎は侍へと出世してしまったというお噺でした。

会場は、柳橋師匠の世界に、皆引きずり込まれ、笑い声も絶えず、まさに「初笑い！新春センター寄席」でした。

落語は同じ演目でも、噺家さんの数だけ違う噺があるというくらい、それぞれの解釈があり、それが落語の面白さだそうです。

今までに何回か寄席にはいったことがありましたが、これからは時間を作って、ぜひ独演会に行ってみたいと思いました。

♪新春コンサート♪

当センター恒例の「新春コンサート」が今年も2月8日(土)に開催されました。

出演はヴァイオリン(壺井彰久)とギター(鬼怒無月)のデュオ「ERA (イーラ)」さんです。今までに出演をお願いしたことのないジャンルで、ロック・ジャズ・民族音楽などを融合した音楽と聞いていたので、お客様は来て下さるかな？と一抹の不安があったのですが、まったくの杞憂に終わりました。

キャッチコピー《ヴァイオリンとギターが誘う壮大な世界旅行》その

ままにオリジナル曲と誰にも馴染み深いカバー曲が演奏されました。確かなテクニクは、とても二人だけの演奏とは思えない迫力あるものでしたし演奏の合間のトークもとても楽しく、あつという間の1時間半でした。



お二人にいつもとは違う会場での出演について感想を伺ってみました。

『昼の光あふれるホールで今までご縁のなかった皆様にERAの音楽を聴いていただく機会を設けて頂きありがとうございます。折角の機会ということ、我々も普段やらないカバー曲に挑戦出来たりして、バンドとしても一歩前進できたと感じています。皆さんERAのオリジナルからとっておきのカバーまで、分け隔てなく楽しんでくださったようで大変な感謝をささげます。また何かありましたら遠慮なくお申し付けください。飛んでまいります。』とのことでした。

ご出演ありがとうございました。

地域のお知らせ

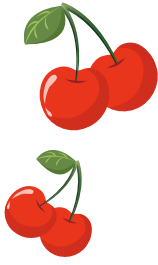
地域の催しは、ポスター等でもお知らせします。気軽に参加ください。

【落合のさくらんぼ】

下落合4丁目にある「下落合公園」には、紅白の梅の花からバトントンタッチをしたかのように、さくらんぼの白い花が咲いています。毎年今の時期（2月末～3月初旬）に花を咲かせ、花が散ると葉が出て、そして小さな緑色の実をつけます。

この頃には、新宿区役所公園課にお願いをして、鳥などから実を守るため、保護ネットを設置して頂いています。

公園で遊ぶ小さな子どもたちは、ネットで囲われてしまった木を見ると「なんで？」と思うらしく、ママに質問している声も聞こえてきます。



5月下旬から6月頃には、公園課の方と、下落合四丁目町会福澤会長を始めとして、日頃から肥料散布などをしていた有志が集まり、真っ赤になった実を収穫します。

このさくらんぼは市販されている物よりも小粒で味も「あま～い！」と言うほどではありませんが、公園内にいる方、通りがかった方にもお分けして、季節を楽しんでいるそうです。

残念！

地域センターまつり

「ビバ！おちあい」



3月14日（土）に予定されていた、センターまつりが中止となりました。

管理運営委員会の委員は、昨年の11月初旬より各階ごとに会議を重ね準備してまいりましたが、

「新型コロナウイルス感染症」の拡大防止のため、大変残念な結果となっていました。

「センターまつり」が中止となったのは今回で2度目、前回は2011年3月11日（金）の東日本大震災の時でした。

その日午前中から地域センターでは、委員は明日のためにお手伝いのボランティアの方たちと準備をしている最中でした。

都内の電車は止まり、テレビには次々と東北の被害情報と一緒に、これが現実とは信じられないような映像も映し出されていました。

センターでは、管理運営委員会前田会長と副会長が協議し、中止の決断がされました。

外を見てみると、西武新宿線下落合駅の踏切に止まったままの電車、聖母坂・目白通りなどは徒歩で帰宅を急ぐ人のあまりの多さにびっくりするほどでした。

家族との連絡をなかなか取れない委員もあり、様々な思いの中、準備した物の後片付けをしたのを思い出します。

あれから9年、震災直後は非常持出し袋が玄関近くにあったのに現在は押し入れの中…

今回は「コロナウイルス」拡大防止のため中止となったセンターまつりですが、現在マスクや紙類不足で大変な思いをされている方がたくさんいらっしゃると思います。いつ何が起きるか分からないと言う事を念頭に、準備と対策をしておく事が大切な事なのではないでしょうか。

超難問クイズ！

この漢字何と読む？

- | | | |
|---------|---|--------|
| 1. 大口魚 | ・ | ハタハタ |
| 2. 春告魚 | ・ | カワハギ |
| 3. 燭魚 | ・ | ヒラメ |
| 4. 鶏魚 | ・ | サヨリ |
| 5. 石斑魚 | ・ | サバ |
| 6. 鰹 | ・ | タラ |
| 7. 鮎魚女 | ・ | ニシン |
| 8. 鰻 | ・ | ハリセンボン |
| 9. 香魚 | ・ | マテガイ |
| 10. 比目魚 | ・ | ウグイ |
| 11. 山女魚 | ・ | アイナメ |
| 12. 針魚 | ・ | ムツ |
| 13. 魚虎 | ・ | イサキ |
| 14. 青花魚 | ・ | アユ |
| 15. 馬刀貝 | ・ | ヤマメ |

上の・と下の・を、線でつなげてみよう！
何問わかるかな？



いまこそ、必要な コミュニティの力

四月は、スタートの月です。多くの方々が、この「おちあい」でも新生活を始められていることと思います。新しい仲間として歓迎します。

ぜひ、この広報誌や地域の掲示板で、当地域センターや各町会のイベントに気軽に参加して「おちあい」に来て、住んで良かったと思っていたら幸いです。一緒に「おちあい」の暮らしをつくる仲間になっていただけたら幸いです。

落合第一地域センターは、「おちあい」に縁するすべての人にとって、安全で安心、暮らしやすい町となるよう、落合第一地区地域住民のコミュニティの場として、情報発信基地としての役割を担っています。

沢山の花が、おちあいのまちにもきれいに咲いています。



せせらぎの里

◆コミュニティの力とは、

地域問題の解決や地域としての価値を創造していくための力のことをいいます。その中心は、住んでいる住民ですが、企業や学校、施設も重要な担い手となります。

東日本大震災直後は、人と人との結びつき、「絆」の大切さを意識する機会になりました。



◆大切なコミュニケーション

今回の新型コロナウイルスは、形がなく、目に見えないものです。いま、感染症拡大防止のため、地域のイベントばかりでなく、お花見や歓送迎会などが自粛中止となりました。いつまで、この状況が続くのかもわからないのですが、大切なコミュニケーションの場、機会がなくなってしまう。このことで、地域の共同体意識をやコミュニティ（地域）力の低下を心配する声が出てきています。



◆ウイルスより怖い 「情動感染」

ウイルスは目に見えないものですが同じように、目に見えないものに「こころ」があります。いま、新型コロナウイルスで日本も世界も揺れています。「情動感染」というのは、簡単に言うと「感情は移る」ということです。

「だれかのあくびが目に入ると、自分もあくびをしたくなる」という感じでイライラしている人のそばにいただけで、自分もイライラしてしまう。

感染拡大防止のためにさまざまな行動の制限や健康や経済活動への不安を感じ、イライラしてしまう。しょうがないことなのですが・・・それを家族や仲の良い友達に、ぶつけてはいけません。この感情は伝染してしまうのです。

そうならないためには、①イライラしている人や不安を感じる場所に近づかない。

②自分がイライラしたり、不安になっても、発信しない。

③前向きで明るい情報に触れたり、会話を心がける。

ウイルスに感染しないように、予防をするように、「こころ」も守って、乗り越えたいと願っています。

ウイルスより

怖いのはこころの病

◆あれやこれや

学校が休校になって、平日でも、大勢の子どもたちが、公園で遊んでいます。「まるで、昔の子どもたちのような・・・」と懐かしむ方がいました。



おとめ山公園

◆超難問クイズの答え

- ①タラ ②ニシン ③ハタハタ
- ④イサキ ⑤ウグイ ⑥ムツ
- ⑦アイナメ ⑧カワハギ ⑨アユ
- ⑩ヒラメ ⑪ヤマメ ⑫サヨリ
- ⑬ハリセンボン ⑭サバ
- ⑮マテガイ